

令和7年7月 23 日

保護者 様

小平市立小平第二中学校  
校長 吉田 功

## 令和7年度第1回学校評価(保護者アンケート)に向けて

日頃から本校の教育活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

さて、このたびスクールメールを活用して第1回学校評価(保護者アンケート)を実施いたします。これに先立ち、これまでの学校での取組状況について下記のとおりお知らせいたします。アンケート回答の参考にして下さい。

### 記

#### <学校全体の動きから>

昨年度来お知らせしていました自閉症・情緒障がい特別支援学級(S組)が4月に開級しました。今年度は開級初年度ということで、7名でスタートしました。授業は、自閉症・情緒障がい特別支援学級で指導経験のある教員や時間講師が多くの授業を担当しています。先月行われた RIKUTAI では、通常の学級の生徒と一緒に短距離走や学年種目のムカデ競走に出ました。ムカデ競走の場面では、先に競技を終えた女子実行委員が応援に加わり、それにつられ学年(学校)全体が応援する様子が見られました。現在、来年度に向けS組の見学に来る児童・生徒、保護者がおり、来年度は学級増になる見込みです。

続いて、本校は昨年度から小平市の研究指定校として、生徒の非認知能力を高めるための指導方法について研究しています。具体的には、自分の考えをもち、行事のほか、教科の授業の中でも高められるよう研究に励んでいます。実践の様子は、学校ホームページにアップ「研究」のタブのところで紹介しておりますのでご覧ください。

#### <学習面>

学習面では、生徒の学習習慣と授業規律を確立し、生徒の学力向上を目指し取り組んでいます。

まず、学校全体(教員)の取組としては、授業における「二中スタンダード」(時間を大切に、授業のめあてや流れを提示する、ICT機器を活用するなど)に基づく授業づくりに取り組んでいます。全ての教員が生徒にとって分かりやすく、学びやすい授業を行えるように取り組んでいます。7月8日に教育委員会学校訪問(教育長以下、教育委員の方、事務局の方が視察に来校)がありました。授業を見学され、どの授業もわかりやすいという講評をいただきました。

次に、教員の指導力を向上させるために毎学期授業研究に取り組んでいます。今学期は、3学年教員が授業者となり7月2日(水)に授業研究を行いました。また、学期末にかけては生徒による授業評価を行います。このほか、管理職による授業観察を通して、時間講師を含む全教員に対し個別に助言・指導しております。

あと、すでに申し込みは終わっていますが、夏休みに補習教室を行います。学習が苦手な生徒はこのような機会を活用してほしいと考えております。

生徒の学習(授業)への取組を知るバロメーターの一つとして、この時期だと水泳の授業への参加状況が挙げられると思います。本校では、けが等の特別な事情がある生徒を除き、ほとんどの生徒がきちんと取り組んでいます。過去に勤務した別の学校では、水泳の授業に参加している生徒よりも見学者の方が多いという学校もありましたので、本校の生徒はしっかり取り組んでいると捉えております。

その他、特徴のある取組として、3学年社会科B(芝田実非常勤教員担当)の授業で、任意ですが新聞の投書欄への投稿チャレンジに取り組んでいます。4月から始め、1学期末の段階で25名の生徒の投書が採用されています。表現力や要約する力の向上に寄与しているようです。

## <生活面>

生活面では、いじめのない明るく活気のある学校を目指し取り組んでいます。そのためには、まずは落ち着いた学校生活を送れるようにすることが大切です。そこで三つの柱を重点に取り組を行いました。

一つ目は、生徒のウェルビーイング(身体的・精神的・社会的によい状態)を高めるために、生徒会活動や学級活動での班、係、委員会活動に取り組ませ一人一人の出番をつくるようにしました。

二つ目は、いじめの未然防止、早期発見、早期対応を徹底するためにふれあい月間アンケートを実施しました。いじめについては、今学期5件ありました。5件とも指導済みで見守り中です。いじめの多くは、SNS にかかるトラブルに端を発しているものが多いです。スマートフォンなどの使い方については、学校でも指導しておりますが、ご家庭でもご指導いただけたらありがたいです。

三つめは、より良い学級生活と友達づくり、学びのためのアンケートとなる今学期1回目の WEBQU(ウェブキュー) アンケートを実施しました。今後、担任を通じて生徒にフィードバックしていきます。

その他、昨年度までご指摘のあった給食の喫食時間について、今年度から喫食可能な時間を5分延長した時程を組み行っています。それとともに、生徒の給食委員会でも早く配膳を終え、喫食時間を増やせるよう「パパッと準備週間」という取組を7月に実施し、喫食時間の確保に努めています。

## <キャリア教育面>

キャリア教育面では、将来の夢をもち、夢の実現のために真剣に授業や学校生活に取り組む生徒を育成することを目指し、取り組んでいます。

そのために外部人材を招聘した講演会のほか、今学期に取り組んだことをキャリア・パスポートのまとめ自己理解を促進させる取り組みを行っております。キャリア・パスポートは、今年度から通知表の担任所見の代替(1・2学期のみ)として活用しておりますので、ぜひ生徒の記載内容をご確認ください。

学年別には、1年生では自己理解や夏休みに向けての身近な職業人へのインタビューの準備、2年生は職場体験学習に向けての準備や上級学校調べの準備、3年生は、修学旅行の事前学習のほか、進路説明会や上級学校の先生の話聞く会など具体的な進路選択に向けた準備、G 組の3年生では職場体験など、学年に応じた内容に取り組みました。夏季休業期間中は、身近な職業人へのインタビュー(1年生)、職場体験先までの経路を確認する(2年生)、学校説明会への参加(3年生)の取組がありますので、御協力をお願いいたします。

以上

以上を参考に8月1日(金)までにアンケートへの回答をお願いいたします。